

2022年11月28日

報道機関 各位

同時発表：県政記者クラブ・横浜市記者会

みなとみらい線 馬車道駅構内で現地の活動を紹介 「ウクライナ人道危機写真展」を開催します

日本赤十字社神奈川県支部は、12月9日(金)～12日(月)に、みなとみらい線 馬車道駅構内で、「ウクライナ人道危機写真展 -誰も取り残さない。紛争からも飢餓からも-」を開催します。

赤十字は、ウクライナをめぐる人道危機に対し、現地に職員を派遣。早くから救援金の募集を開始するなど、世界中に持つネットワークを生かして、苦しんでいる人びとに寄り添い、支援活動を展開してきました。県内では、9月末時点で、1億202万8,080円に上る寄付が寄せられており、多くの支援によって今日も活動を継続しています。

本展では、現地で撮影された写真約20点により、活動を紹介し、ご支援くださる方々へ感謝を伝えるとともに、寄付の用途を報告します。また、紛争や新型コロナウイルス等の影響で輸出が滞るなど、深刻化するアフリカの食料危機にも焦点をあて、世界中で発生する人道危機への継続的な支援を呼びかけます。



苦しむ女性を元気づける赤十字ボランティア



栄養失調状態をチェックする赤十字ボランティア

【開催概要】

日時：令和4年12月9日(金)～12日(月) 午前10時～午後5時(最終日は午後3時まで)

場所：みなとみらい線 馬車道駅 改札前 ※入退場自由

主催：日本赤十字社神奈川県支部

※本展示に関する写真は、ホームページに掲載します。



<お問い合わせ・取材申込み先>

日本赤十字社神奈川県支部 総務企画課 企画広報係

TEL: 045-681-2124 / Email: kanagawa-kikaku@kanagawa.jrc.or.jp

12月7日(水)17:00までにお問い合わせください。

ウクライナ 人道危機 写真展

— 誰も取り残さない。
紛争からも飢餓からも。 —



©ウクライナ赤十字社

2022.12.9[金]-12[月] 10:00-17:00/入退場自由
(最終日は15:00まで)

 みなとみらい線「馬車道駅」改札前

主催 日本赤十字社神奈川県支部 (TEL 045-681-2123)



日赤 かながわ



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

神奈川県支部

ウクライナ人道危機 —赤十字の活動—

2022年2月24日に激化したウクライナをめぐる人道危機に対し、赤十字は世界中に持つネットワークを生かして、ウクライナ国内そして周辺国で紛争の影響を受けて苦しんでいる人びとに寄り添い、幅広い活動を展開してきました。

日本赤十字社では、現地へ職員を派遣すると共に、3月2日から「ウクライナ人道危機救援金」の募集を開始。本社には9月6日時点で68億1,989万6,242円、県内では9月27日時点で1億202万8,080円に上る多額の寄付が寄せられています。

「誰も取り残さない。
紛争からも飢餓からも。」

ヨーロッパの紛争や、新型コロナウイルス感染症のまん延の陰で、アフリカの食料危機が深刻化していることは、あまり知られていません。

注目される人道危機があるその一方で、目が届かない場所、手が届かない場所が生まれているのです。



日本赤十字社は「苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命のもと、世界中の災害や紛争、病気に苦しむ人々を救うため、緊急時の救援や復興支援、予防活動に取り組んでいます。

寄付するあなたも赤十字です
「NHK海外たすけあい」についてはこちら

